

令和7年度広島県農福連携セミナーを開催します！

農福連携とは、障害のある方などが農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組のことです。

農福連携に取り組むことで、障害者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながる可能性もあります。

この取組を進めるためには、農業経営者や障害福祉サービス事業所だけでなく、広く県民の皆様の理解と協力が必要です。

このたび、農業経営者と障害福祉事業所双方の実践事例から課題解決に向けたヒントを紹介するとともに、障害者・高齢者・子どもなど多様な人々が「ごちゃまぜ」で暮らせる地域づくりを目指して多角的な活動を展開している石川県の社会福祉法人佛子園の講演を通じ、広島県における農福連携の気運を高めることを目的としたセミナーを開催します。

＼開催周知と取材にご協力いただきますようお願いします！／

- 日時 令和8年2月26日（木曜日）13時から16時
- 会場 はつかいち文化ホール ウッドワンさくらぴあ 2階 小ホール
(廿日市市下平良1丁目11-1)
- 対象 ご興味のある方はどなたでも可！
★特に、次のような方はぜひご参加ください。
 - 農業に従事されている方で、障害福祉サービス事業所などに作業の依頼を考えている方
 - 障害福祉関係者で、農作業を取り入れたい、農作業の手伝いをしたいなど農業の取組を考えている方
- 定員・参加費 150名・無料
- 内容

(1) 県内の農業経営体及び就労継続支援事業所からの農福連携実践事例の発表 (20分×3事例)

社会福祉法人庄原さくら学園 青空 管理者・サービス管理責任者 藤本 裕樹 氏 (庄原市)	【発表テーマ】 ブドウ園との出会い～その後
・すずきエスニックファーム 代表 鈴木 隆之 氏 ・株式会社ビーンズ 就労継続支援B型 そらまめ宮内 サービス管理責任者 斎藤 康恵 氏 (廿日市市)	【発表テーマ】 農業経営者と就労継続支援B型事業所で 廿日市市の香辛料栽培をリードする
社会福祉法人ひとは福祉会就労センターあつぶ 施設長・サービス管理責任者 城崎 高治 氏 (安芸高田市)	【発表テーマ】 地域の農業を支える就労 継続支援B型事業所の新たな取組

(2) 農福連携の視点からまちづくりを進めている石川県の社会福祉法人による講演 (60分)

社会福祉法人佛子園 (ぶっしえん) 理事 日本海俱楽部施設長 竹中 誠 氏 (石川県)	【講演テーマ】 これからの農福連携～ 社会福祉事業とまちづくり
------------------------------------------------	------------------------------------

(3) 農福コンソーシアムひろしまからの取組について報告 (20分)

農福コンソーシアムひろしま 代表 伊藤 大悟 氏 (竹原市)	【報告内容】 広島県における農福連携の新たな取組
-----------------------------------	-----------------------------

- 主催：広島県（委託：一般社団法人広島県農業会議）

令和7年度

広島県農福連携セミナー

～広島県の農福連携の今と将来について学ぶ～

★県内で障害者が農業分野で活躍する農福連携の実践事例について知り、これからの農福連携の実践モデルについても学び、課題解決に向けて行動しましょう!!

販売や展示のコーナーもあります!!

日 時 令和8年2月26日（木）13時00分～16時00分

会 場 はつかいち文化ホール ウッドワンさくらぴあ 2階小ホール

定 員 150名

※裏面「参加申込書」にてお申込みください。

◎県内事例発表【13:05～14:20】

事例1 ブドウ園との出会い～その後

発表者

社会福祉法人庄原さくら学園 青空

管理者・サービス管理責任者 藤本 裕樹 氏



令和6年5月から、三次市内のブドウ園での施設外就労に取り組んだことにより、事業所の利用者の就労の姿が徐々に変わりつつあります。今後を見据えた、事業所の取組みについて報告します。



事例2 農業経営者と就労継続支援B型事業所で廿日市市の香辛料栽培をリードする

発表者

すずきエスニックファーム

代表 鈴木 隆之 氏



(株)ビーンズ 就労継続支援B型 そらまめ宮内
サービス管理責任者 齋藤 康恵 氏



農業者が就労継続支援事業所と出会ったことで、やりたくても出来なかったことに取り組めるようになり、事業所にとっても、施設内外で利用者の新たな活躍の場を得ることができました。これまでの私たちの取組を報告します。

事例3 地域の農業を支える就労継続支援B型事業所の新たな取組

発表者

社会福祉法人ひとは福祉会

就労センターあっぷ

施設長 城崎 高治 氏



就労センターあっぷでは、様々な作業に取り組んできた歴史を踏まえ、将来の事業所のあり方を「地域で貢献すること」にフォーカスし、新たに施設外就労班を設置したことによる成果について報告します。



◎講演【14:30～15:30】

演題 これからの農福連携～社会福祉事業とまちづくり～

講師 社会福祉法人佛子園 日本海俱楽部 理事 竹中 誠 氏



1977年石川県生まれ。社会福祉法人佛子園 理事、日本海俱楽部 施設長。
石川県社会就労センター協議会会長、クラフトビール石川協同組合 理事長を兼任。
能登半島北部・能登町にある「日本海俱楽部」では、障害のある方々の就労支援を中心とした福祉サービスを展開しながら、クラフトビール製造、レストラン、牧場などを運営。障害の有無を超えて共に働き、地域とともに生きる場づくりを進めている。
農業と福祉の連携にとどまらず、商業・観光・工業を結びつけた「農福商工連携」を推進。地域特産品の開発、観光拠点の創出、雇用機会の拡大などを通して、地域全体の活性化に取り組んでいる。能登半島地震後は、JOCA（青年海外協力協会）と協働し、仮設住宅内におけるコミュニティセンター設立・運営を主導。福祉とまちづくりを融合した“ごちゃまぜのまちづくり”を実践している。

◎報告 広島県における農福連携の新たな取組【15:40～16:00】

報告者 一般社団法人農福コンソーシアムひろしま 代表 伊藤 大悟 氏

広島でも、農福連携の先進的な取組が始まっています。令和6年8月に設立された農福コンソーシアムひろしまから、これからの農福商工連携の取組について、報告していただきます。



主催 広島県（委託：（一社）広島県農業会議）

共催 廿日市市、（公社）広島県就労振興センター、農福コンソーシアムひろしま、広島県知的障害者福祉協会

後援 法務省中国矯正管区、中国四国厚生局、中国四国農政局、中国経済産業局、広島県身体障がい者施設協議会、

広島県精神障害者支援事業所連絡会



農福連携セミナー 参加申込書

※お名前等をご記入の上、区分欄の該当するものに○を付して下さい。手話通訳・要約筆記等が必要な場合は、その内容を配慮事項欄にご記入ください。申込期限は、2月18日（水）です。早めにお申し込みください。

お名前	所属 (個人申込は「個人」と記入)	連絡先 (電話番号又はEメール)	区分	配慮事項
			() 福祉事業関係者 () 農業関係者 () 行政職員 () その他	
			() 福祉事業関係者 () 農業関係者 () 行政職員 () その他	
			() 福祉事業関係者 () 農業関係者 () 行政職員 () その他	

申込・問合せ先

一般社団法人広島県農業会議
FAX: 082-246-1825
TEL: 082-545-4146
Eメール: noufuku@h-kaigi.jp
担当: 村田

【会場までのアクセス】

※JR宮内串戸駅と広電宮内駅、JR廿日市駅と広電廿日市駅の間は、徒歩5分程度距離がありますのでご注意ください。

■ JRをご利用の方

JR山陽本線「宮内串戸」駅から徒歩約15分

JR広島（宮島口・岩国方面へ）⇒JR宮内串戸(22分)

JR宮内串戸駅から、ホールまでタクシーで約10分です。

■ 広電宮島線をご利用の方

広電宮島線「廿日市市役所前(平良)」駅から徒歩約7分

■ 広電バスをご利用の方

広電バス「廿日市市役所」バス停徒歩1分

■ 廿日市さくらバスをご利用の方

「廿日市市役所前」下車で正面玄関の前に着きます。

■ お車をご利用の方

ナビをご利用の場合「廿日市市役所」と設定してください。

・国道2号線（宮島街道）から

新宮一丁目交差点を南方面へ。すぐ廿日市市役所及びホールの建物があります。

・国道2号線（西広島バイパス）から

広島方面から西広島バイパスで、佐方サービスエリアを過ぎたら「廿日市市街地方面」に進み、上平良交差点を左折（南方面です）。約1km直進し、陸橋を降りてすぐ左折したら、文化センターの看板が出ています。山口方面から広島方面に向かい、「廿日市市街地方面」に進み、上平良交差点を右折（南方面です）。約1km直進し、陸橋を降りてすぐ左折したら、文化センターの看板が出ています。

